



吉原

教育目標

「夢」に向かい、根気よく努力する子どもの育成

舞鶴市立吉原小学校
学校だより
3月号
令和8年2月27日

HP
2次元コード



感謝と敬意の気持ちを持って



この冬は大きな寒波が2度もやってきて、舞鶴でも大雪が降りました。まだまだ寒い日がありますが、太陽の暖かさも少しずつ増え、春が近づいていると感じます。

今年は、国際的なスポーツイベントの当たり年だそうです。3月にはワールドベースボールクラシック、6月には FIFA ワールドカップ、そして、先日までは、ミラノ・コルティナ冬季オリンピックが行われていました。

ミラノ・コルティナ冬季オリンピックでは、日本選手たちが競技後のインタビューでこれまで支えてくださった多くの方への感謝の気持ちを口にしている姿が印象的でした。また、日本人選手が試合後に見せる「お辞儀」に、世界から称賛の声が上がっています。特に、アイスホッケー女子「スマイルジャパン」がドイツ戦に敗れた後、整列して観客席へ深々と頭を下げた姿は、相手チームや開催国への敬意を示すものとして大きな反響を呼びました。こうした姿から、結果だけでなく、周囲への思いやりや謙虚さを大切にしている日本の良さが改めて感じられました。

本校でも、このオリンピックで見られた感謝と敬意の姿勢をそのまま体現する、すてきな出来事がありました。「6年生を送る会」です。会の中では、在校生が6年生のこれまでの活躍や、学校をよりよくしてきた努力に対して、心のコもった感謝の言葉をまっすぐに伝えていました。呼びかけや演技、プレゼントの一つ一つに、6年生への感謝とあこがれがあふれていました。

そして、その思いに応えるように、6年生からも「送る会を開いてくれたことへの感謝の気持ち」が語られました。自分たちを支えてくれた在校生や保護者、地域の方々へのお礼の言葉には、6年間で育ってきた温かさや成長が感じられ、大変うれしく思いました。

日本代表選手たちが示した「感謝」と「敬意」。本校の子どもたちも、日々の生活や行事の中でその姿を自然に表しています。互いを思いやり、努力を認め合う、感謝の気持ちを言葉や態度で伝えられる—そのような子どもたちが集う本校は、本当にすばらしい学校だと改めて感じました。

いよいよ3月、「卒業証書授与式」「修了式」が控えています。最後までしっかり子どもたちを支援し、次の進学先・学年へとつなげていきます。保護者の皆様、地域の皆様よろしくお願いたします。

校長 弓下 伸二
教職員 一同

